

桜川文芸

俳句

【桜川市岩瀬「萩」俳句会】

かぶと煮の大きな目玉合格す

鈴木たか子

山里もわがまほろばや花霞

小林 啓治

かさばれる駄菓子袋や山笑ふ

小林 フク

晩学の夢を紡ぎて青き踏む

三代みちよ

川の名も市の名もさくらさくらかな

渡辺 いし

芹むすび旅に味はふ海平ら

入山ひろ子

【茂山俳句会】

道しるべ空にあるらし鳥帰る

鶴見 菊江

ととのはぬ息づかひして芽木の山

井坂 洋子

常命に悔ひなし二人の春炬燵

大関 くに

伏せられしままの歳時記春の風邪

鈴木ノブ子

靴紐を固く結んで入学す

関根 幸子

雨あとの色重なりて萌え立ちぬ

田崎 信子

遠目にも芽吹き彩の雑木山

松崎 いま

ときめきは吾が生きる糧花吹雪

植田 祥雲

忌を修す思ひ出新た春障子

宮本 芳江

紅顔の少年老いし春炬燵

泉 健作

白れんのゆたかに揺らぎ夕づける

吉原 秀子

春愁や鳩ふくみ鳴く山の寺

竹林 てる

どつと来て秩父遍路の引揚げり

海老沢静夫

おさげ髪切りて新車に春の風

海老沢幸子

富士の水含める水菜届きけり

今井 繁子

山讃へをればしづかに春闌ける

飯山 昭

短歌

【真壁短歌会】

店蔵に映えてあてやか雛の壇きさらぎ真壁の町あたたかし

岡村 次雄

あまた生りて挽ぐ人のなき柚子の実を椋鳥の群れたちまち啄む

根本 英子

園バスへ姉送りゆく弟もリュック背負いて母と三人

塚本とよ子

寒き朝肩をすぼめて出る庭に佗助の蓄ふくらみており

渡辺ハルエ

靄晴れて白山茶花は露ふくみ弾けるさまに朝陽かがよう

増田 芳江

【一般投稿】

群青の天に響きし四度の滝奥久慈の風光り滝笥

大山 しげ

俚謡

【さくら俚謡会】

さくら散つてもお熱い二人

風も温むか春の宵

つく志輝美

別れ言葉がぶつんと切れて

傘に未練な春の雨

稲葉 建正

春の人事の凝りも消えて

里は長閑な鯉幟

田 哲人

有料広告掲載募集中!

お問い合わせは、秘書広報課へ ☎58-5111-75-3111、内線1268

広報 さくらがわ

有料広告掲載募集中!

お問い合わせは、秘書広報課へ ☎58-5111-75-3111、内線1268

広報 さくらがわ